

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

Dogushi

胴串 -どぐし-

Winter 2016

Vol.12

特集

ここはまるで人形劇の見世物小屋!! 「人形劇の図書館」

Dogushi Vol.12 2016年1月発行 発行：「人形劇のまち飯田」運営協議会
制作：NPO法人いいた人形劇センター TEL:050-044-3583-3594 FAX:050-044-3594 E-mail: itida-puppet@misjans.or.jp

掲示板 いいた人形劇センター からのお知らせ

人形劇の基礎レッスン
手遣い人形劇「受講者募集」



台湾の伝統人形劇「布袋戲」の遣い手チャン・チンホイさんによる講座。平日は夜、土日は昼に開催します。

チャン・チンホイさんプロフィール
人形師・京劇俳優
1969年生まれ、福岡出身。
1989年、北京京劇院にて京劇を学ぶ。
2011年、台湾台北に布袋戲修業のため留学。
同年10月、「弘宛然」団長・呉崇昌に弟子入り。

日程:3月3日(木)~6日(日)全4回
会場:飯田文化会館、飯田人形劇場
料金:大人2,500円、学生1,000円
問合せ:いいた人形劇センター
☎050-3583-3594

Dogushi

並木 さんぽ

創刊から8回にわたり連載を担当いただいた宇野小四郎さんの「隴 人形たちのカーニバル」に続く新連載が始まりました。全国から飯田へ訪れる人形劇人の皆さんに「人形劇のまち飯田」へ寄せる思い、飯田でのエピソードなどをリレー式でつづついただきますので楽しみに。

また、飯田市の特色である小中学校で行われている子どもたちの人形劇活動を本号から1年かけて取り上げます。

次号は4月発行予定です。(帆)

表紙イラスト:井原千代子



View of 1174

フランスを拠点に世界各国で上演を続けるポリーナ・ポリソヴァさんの初来日公演が11月に飯田で行われました。一人の老女が紡ぎ出すユニークながら切なくもあるストーリー「Go!」。終演後、ステージに現れたチャームिंगな彼女を見て皆びっくり。大好きな和菓子に舌鼓を打ちながら「飯田はとても素敵な町。また上演したい」とメッセージをくれました。

わかる!! 人形劇 用語

『パンチ&ジユディ』

アントニオ猪木が丸顔に思えるほどに尖ったアゴと背中中に大きなコブを持つパンチ。そしてその妻ジユディたちが登場するイギリスの片手遣い人形劇。以前に紹介したフランスにおけるギョールと同様、いやそれ以上にイギリス人にとっては親しみのあるキャラクター。日本人で獅子舞を知らない人はいないのと同じくらい

に、パンチを知らないイギリス人もいない。
その特徴的なピーピー声は、スワズルと呼ばれる口に含んだ笛のようなもので出される。スワズルとセリフ、それに木でできた片手遣い人形を巧みに一人で操るのがProfessorという、パンチの遣い手たちだ。
さて、このパンチ。極めてアナキーかつバイオレンスなおっさんで、赤ん坊を放り投げ、妻のジユディを棍棒で殴る。医者、警官、ワニたちをも殴り倒し、死刑執行人を縛り首にし、悪魔をもやつつけ



てしまうやりたい放題男。ロンドンのコヴェント・ガーデンで1662年5月9日に初めて演じられといわれ、2012年には大々的に350周年フェスティバルが行われた。
(人形芝居燕屋くすのき燕)

特集

ここはまるで

人形劇の見世物小屋!!

人形劇の

図書館

アプローチには人形劇・トロッコの人気者「わんべい」を演じる顔出しパネルと人形芝居に関わり深いえびすさんの石像が訪問者を迎えてくれる。だが人形劇の図書館に「步入れば、そこは足の踏み場もない程に、人形劇のありとあらゆる図書資料がぎゅうぎゅうに詰まった、まるで人形劇の見世物小屋のように興味深い場所だ。棚はもろろん、床から天井までぎゅうぎゅうと詰め込まれていて、ここに入りきららないものは倉庫にやはり詰め込まれているという。いったい点数を数えることなどできるのだろうか。最少人数での運営だから、図書の整理が精いっぱい、資料類は収集してとりあえずは残すことが目的のようなものだから「アータベ」もそれは次の世代の仕事」だと、瀧見英明館長はいう。



玄関先の石像のえびすと顔出しパネル

ここは1991年に人形劇・トロッコが創立20年を記念し設立した、日本で唯一の人形劇の専門図書館。図書館とはいえ、図書だけでなく人形劇の関連資料の収集も行い、その数は膨大で、公称蔵書が1万冊、資料は数万点といわれる。

2013年に「人形劇図書資料目録（飯田市人形劇資料調査活用実行委員会発行）が、この人形劇の図書館の蔵書を中心にして作成され、タイトルだけでも約1万点が収録されたが、長年かけて収集されてきたさまざまな人形劇の資料についてはほとんど未整理であるが、時にその収蔵品から「人形劇の図書館コレクション展」といったものを全国各地で、またフランスやロシアなど海外でも展示を行い、公開してきた。今回、まずはどんなお宝が眠っているのか、わくわくしながら滋賀県大津市は比叡山麓にある「人形劇の図書館」をのぞいてみよう。

人形芝居の見世物小屋があった

この「日本一活動人形劇団 黒川少女舞踊団」とある手描きポスターは、1960年頃に描かれたと思われるもので、この猿倉系人形一座が少女舞踊なるものと組んで客を集めて各地のタカマチ（祭りや縁日の場）で見世物小屋として公演活動を行っていたが、1960年頃に次の場へ移動すべく荷物を箱に詰めた状態のまま残されていた中から出てきたもの。20世紀の最期に人形劇の図書館により発見されるまで40年間、人形、かしらや垂れ幕、舞台一式が奇跡のよう眠っていた。見世物小屋独特の小屋の前に掛けて客を呼び寄せるに重要な「絵看板」は、270×180cmの大きな布絵で、人形芝居の絵看板の存在はとても珍しい。



黒川興行一座 手書きポスター

絵看板

浮世絵に描かれた人形芝居

浮世絵はいわば歌舞伎役者のプロマイドともいえるが、人形芝居は江戸期には歌舞伎を凌駕する人気があったから、人形芝居のプロマイドももちろん存在する。しかし残念ながらスターシステムではない人形遣いは絵になりにくく、浮世絵の中ではとても少ない。その数少ない人形



「西洋あやつり人形 花やしき」ダーク人形座のチラシ

芝居を描いた浮世絵や摺物は数十点が収集されていて人形劇の図書館コレクション展のなかでもリクエストが多く、飯田でも2015年10月から11月にかけて川本喜八郎人形美術館で公開されたばかりだ。



「日吉丸稚桜」吉田三吾 水中早替わり 豊国画



和本コーナー

世界の人形劇資料も

人形劇は国際的なかわりながら、上演だけでも毎年少なからぬ人形劇団が往来しているし、人形劇運動という視点では日本もUNIMA創立(1929)当時からすでに関係を持つているほどで、人形劇の図書館にも世界各国の図書だけでなく2千冊以上が棚に並んでいる。
世界の人形劇ポスターも数百点の収集があり、過去にもポスター展はあちらこちらで数多く行われ



アルブレヒト・ローゼル作
「黒いペリダーンサー」

てきた。それに、なんとあの世界最高峰のマリオネット師、アルブレヒト・ローゼル作の超貴重な人形までもが収蔵されているのだ。

人形劇の人形ではない人形劇の人形?

つまり、人形劇、人形芝居を題材とした人形(ドール)たち。土人形から人間国宝の作となる紙塑人形、キャラクターものなども含めて、その人形劇の人形でない人形たちは小さなミニチュアから結構大きなものまでさまざまで、館内の棚のあちこちに転がるように置かれたものあり、ガラスケースに鎮座しているものまで、こんなにもあるのかと思わせてくれる。



「村を行く」と題された三番聖の女性箱まわしを描いた、紙塑人形の人間国宝 秋山信子作

現代人形劇の図書資料は、もちろん豊富だ

この図書館のメインは現代人形劇だから、過半数の図書資料は現代人形劇の分野になる。とくに図書はその始まりの大正時代末からの出版物の多くが並び、2015年には豊富な図書資料から「戦後70年：人形劇は戦争にとつ立ち向かうのか」



「人形座臨時公演」のポスター。新興人形劇すなわち現代人形劇のはじまりはこの劇団から



『日本の人形劇1867-2007』表紙に人形劇の図書館蔵の浮世絵が使われている



『やさしい人形劇脚本集』1950年刊のこの脚本集からあの「なかよし」が生まれた



大江巳之助師三番聖人形。高さ60cmのとても存在感がある小人形

猿倉人形コレクション 人形浄瑠璃の小人形たち

大江巳之助師、天狗久などの人形かいら、東北の猿倉人形芝居コレクションの100を超えるかいらは圧巻で、さらに人形浄瑠璃の小人形、片手遣い人形などなど、日本の人形芝居の豊かな存在を裏付ける資料も豊富だ。



「猿倉人形 吉田千代勝座」のポスター

「フランス国立人形劇高等学院」開設時のポスター



「ドレスデンUNIMA大会1984」のポスター

浄瑠璃丸本・番付・掛軸など

この和本コーナーには浄瑠璃本が丸本(物語の全体が書かれた)から稽古本、床本のほか「劇場楽屋図絵」などの和本が数百冊、さらに桐箱には浮世絵、立版古、番付などの摺物、江戸から明治の貴重な資料がぎっしり収まり、天井の間には掛軸などがここも隙間なくぎっしりと並んでいる。

浄瑠璃本にはもちろん近松門左衛門作(写真)から、副内鬼外(平賀源内)の作などのもあり、浄瑠璃本の山をみればいかに浄瑠璃の浸透があったかが見えてくる。番付などには江戸から明治の淡路や文楽系のみならず、相撲番付に見立てた太夫などの格付け、人気番付も含まれている。



劇場楽屋図絵

浄瑠璃丸本・近松門左衛門作「姫山姥」

※開館は不定期のため事前に確認してください
「人形劇の図書館」滋賀県大津市坂本8-22-15 ☎077-578-5455 e-mail:torokko@nifty.com



上久堅小学校3年生 いいだ人形劇フェスタ2015で「ねずみのすもう」を上演後、地元の高齢者から教えてもらい、セリフを方言にかえて地区の文化祭で再演



さらに、地元の伝
統人形芝居を継承
する中学校の部活
動など、こうした試
みが一年を通じて
人形劇活動に取り
組み、地域の人に
形劇を観てもらっ
機会が増えること
につながってきてい
ます。

学校での人形劇活動は8月に行われるい
だ人形劇フェスタでの上演だけではありませ
ん。フェスタでの上演は通過点に過ぎず、反省
をいかして練習を重ね、校内の参観日や学芸
会、地区の文化祭、老人福祉施設等へ出掛け
るなど複数回上演しており、子どもたちの意
欲が高まっていることがわかります。
また、地区に伝わる昔話を地元住民が脚
本にしたり、フェスタで上演した後に地元の
高齢者の指導でセリフを方言に直して上演
したり、と地域と交流しながら人形劇活動
が学校だけでなく外へと広がっています。

地域とつながり、広がる 子どもたちの活動



上郷黒田の伝統人形芝居「黒田人形」
を継承する高陵中学校黒田人形部。い
いだ人形劇フェスタの上演だけでなく黒
田人形保存会の定期公演、伝統人形芝
居の合同発表会など通年上演している



川路小学校3年生 わになって3☆
「やさいのおしゃべり」。いいだ人形劇
フェスタ2015で上演後、練習を重ねて
地区内にある老人福祉施設を訪問



千栄小学校はいいだ人形劇フェスタでは上演
せず、毎年11月に行う「親子レク」で保護者や
地域の方々の前で発表することを目標に3・4年
生が取り組んでいる

シリーズ

人形劇に取り組む 子どもたち ①

飯田市の小中学校では多くの子どもたちが人形劇
活動に取り組んでいます。これは全国的に珍しく、人
形劇のまち飯田、ならではの特色であるといえます。
1979年に始まった「人形劇カーニバル飯田」で人形
劇を観ることに親しんだ子どもたちが、次は演じる側
の体験もしてみようと学校が主体となり始まった活動
が20年以上続いています。それぞれの学校の活動を取
り上げながら、一年を通して人形劇に取り組む子ど
もたちの姿を追います。



和田小学校4年生 和田っ子ミラクル7「遠山さるかに合戦」
(いいだ人形劇フェスタ2015)。児童の祖父母世代のアマチ
ュア劇団「遠山☆さりり」の皆さんが人形づくり、練習に協力

フェスタ上演に向け 短期間で取り組む

今年度、飯田市の小学校19校のうち人形
劇に取り組んでいるのが14校18団体。そのほ
んどが3・4年生の総合学習の時間に行わ
れており、複数の学年で取り組むクラブ活動
になっているのは2団体。一方、中学校は9校
のうち7校が部活動等で取り組んでいます。
小学校では新年度の4月に人形劇に取
りかかります。ここから8月に行われる「い
だ人形劇フェスタ」上演に向けて作品選び、
人形づくり、練習と駆け足ですすめられま
す。3、4カ月という短期間で一つの作品を
完成させるのはなかなか大変。指導にあた
る先生の多くが人形劇は初めてというこ
も。こうした学校での取り組みを支援して
いるのが飯田文化会館・人形劇のまちづく
り係です。先生を対象にした人形制作の講
習会や情報交換、脚本執筆のアドバイス。
さらに学校へのプロの指導者派遣や人形劇
場での合同講習会を行い、子どもたちの人
形劇活動を支えています。
近年はいいだ人形劇センターが「人形劇
の相談所」を開催しており、制作過程での
さまざまな疑問や悩みを解決できる場とし
て活用されています。

わくわく イベントスケジュール

1 JAN 人形劇定期公演
1月24日(日)11:00 会場/飯田人形劇場
出演/丸山小学校人形劇クラブ「つばさ」、いなご☆チャ
ーハン、人形座「あん」 料金/200円(3歳未満無料)

2 FEB 飯田市公立保育園人形劇研修会発表会
2月13日(土)10:00-13:30
会場/飯田市竜丘公民館 料金/200円(3歳未満無料)

いいだ人形劇まつり りんごっこ劇場vol.12
2月14日(日)10:30開演(14:55終演)
会場/飯田女子短期大学アカシアホール
料金/200円(3歳未満無料)

人形劇定期公演
2月21日(日) 会場/飯田人形劇場

3 MAR 人形劇の基礎レッスン「手遣い人形劇」
3月3日(木)~6日(日)
会場/飯田文化会館、飯田人形劇場
料金/大人2,500円、学生1,000円

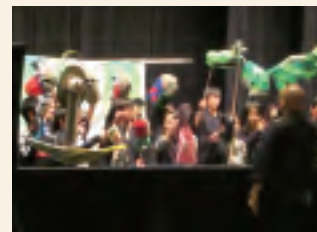
人形劇定期公演
3月6日(日) 会場/飯田人形劇場

春の人形劇まつり
3月20日(祝) 会場/川本喜八郎人形美術館
出演/人形劇団ココロ

愛知人形劇センター&いいだ人形劇センター共同制作
「人形劇×音楽~若手人形劇家の挑戦」
3月26日(土)・27日(日) 会場/ひまわりホール(名古屋)
愛知と飯田のパフォーマーによるコラボ作品の上演



毎年5月から6月に開催される「人形劇の
相談所」。プロの美術家が人形劇のあれ
これを細かく指導。材料も購入できる



複数の学校が集まり、子どもたちがプロの人形劇団から直接指導を受ける合同講
習会。写真は上郷小学校6年1組 人形劇団はばたき(左)、旭ヶ丘中学校人形劇部。
人形の遣い方、場面転換の方法、セリフの言い方などを教えてもら

きっかけは飯田から

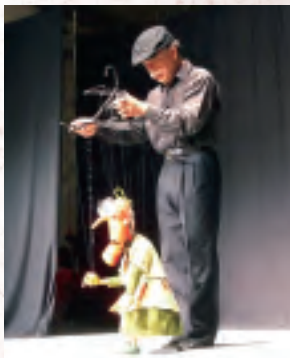
糸あやつり人形劇団みのむし

飯室 康一

「Dogushi」新年度企画の第1番目を仰せつかり光栄です。という事はもうそれなりの歳を重ねているということ。それもそのはず、飯田へは「人形劇カーニバル」の6回目頃から毎年参加している。その頃はまだ冷房施設のない会場が多く、茹だるような暑さの中で上演し、お客さんも汗を拭き拭き人形劇を観ていた。夜は夜で公民館に雑魚寝をして遅くまで人形劇談義をしていた。全国の人形劇人が集い、情報交



新連載
すべての道は
飯田へ通ず



いいだ人形劇フェスタ2011「KANSAI+α・ナイト・フィーバー」。会場のセントラルパークは関西を拠点にする人形劇団が続々登場し、熱気につつまれた

換をし、刺激しあった。「飯田」のおかげで日本の人形劇が飛躍的にレベルアップしたと思う。

今から30年位前の事、飯田の公民館の宿で、西畑人形「たけこの池原さん」と出会った。師と仰ぐ竹田人形座の竹田喜之助さんが亡くなって数年、私の住んでいた尼崎市で「偲ぶ会」をしていたのだが、その時池原さんから「それは、喜之助さんの故郷でフェスティバルをするべきだ」とのアドバイスを頂いた。その事がきっかけで岡山県瀬戸内市の「喜之助フェスティバル」が誕生したのだ。全ては暑い、熱い飯田のカーニバルから始まったというお話。

次号は香川県の人形劇場だけのこ次原由起夫さんです

Library Cafe

飯田とつながる世界の人形劇図書資料から⑫

『伊那谷の人形芝居』

1991年の夏、7月28日～8月25日の間「美博」で開催された特別展の図録で、伊那谷の人形芝居を学ぶにまずはこれ一冊あればといえる内容で、書かれている項目も視点がひろく分かりやすい。伊那谷の人形芝居は、誇れる歴史だけでなく、ひとり違いから三人違いまでの様々な人形芝居が存在し、30を超える程の人形座があったというから、現存する人形座も、かしらも少なくない。その意味でも人形芝居の宝庫である。時にはこうした冊子をひも解き、先人たちが人形芝居を愛でた状況を思い馳せるのもいいことだといえないだろうか。

(人形劇の図書館館長・湯見英明)



飯田市美術館 1991年



竹田人形座の糸操りを学ぶ「竹田人形座竹の子会」の皆さんが上演と体験を行っています

突撃!!

人形劇の ゲンバ

Part12



お客さんの目の前で上演されるのは「三番叟」「都獅子」など約15分



手取り足取り操作方法を教えてください。「貴重な体験ができた」とお客さんからの評判も上々です



竹田人形座竹の子会のメンバー水上隆さん(右)、三石暁子さんが主に上演と体験を担当しています

糸操り人形の細やかな動きを体験

飯田市座光寺の竹田扇之助記念国際糸操り人形館で展示の観覧だけでなく、糸操り人形の上演と操作体験ができるとの情報をキャッチ。さっそく「ゲンバ」をおさえるべく直行しました！

昭和30～50年代に活躍した「竹田人形座」の人形約2600体と、竹田扇之助氏が国内外で収集したコレクションを収蔵する竹田扇之助記念国際糸操り人形館。「竹田の糸操りを知ってもらい、展示している人形だけでなく間近で上演をご覧いただき、関心を深めてもらおうと昨年4月から上演と操作体験を始めました」と同人形館スタッフ。

上演するのは竹田人形座の糸操りを学ぶ竹田人形座竹の子会の皆さん。上演が始まると、手を伸ばせば届きそうなくらい間近での人形の動き、

糸操り人形 上演・体験 ワークショップ

毎週土曜日11時～15時。
これ以外の時間で希望される方は要相談。

問合せ

竹田扇之助記念
国際糸操り人形館
☎0265-23-4222
●入館料
大人400円・小中高生200円
●休館日
月曜・祝日の翌日

さらに十数本の糸によって生み出される繊細な動きにお客さんの目は釘づけ。上演後はお客さんが演じてみる体験も。操作方法を教えてくださいながら最初は恐る恐る人形を動かすものの、次第に大胆な動きに。この日訪れた飯田市の女性は何回か来ているけれど上演と体験は初めて。知り合いにもすすめたいと話していました。

いいだ再発見



完成した獅子頭を並べて講師の後藤さんと記念撮影

「郷土の文化を知る」の巻

飯田市立丸山小学校3年生は総合学習の時間に郷土の歴史や文化、伝統を学ぶ授業を行っています。平成27年度は3つのグループに分かれ、地域の代表的な産業「水引」、伝統食「五平もち」、伝統芸能「獅子舞」について学習しています。

なかでも今年3月は7年に一度のお練りまつりが開催されるとあって27人の児童が「獅子舞」を選択。東野大獅子保存会の皆さんから歴史や特徴などを学び、



東野大獅子サイズのダンボールを使って頭をつくる。赤の絵の具で全体を塗るのも大仕事です



写真をよく見て目や鼻を配置します

1989-98年に放送された『チワンの錦』



てくれまし
た。見ている
人は観ている
ということを知ら
された、
嬉しいような
怖いような
NHKのデビ
ュー戦でした。

自分たちも獅子頭をつくることにしました。子どもたちがつくりやすく、操演もしやすいようにと、獅子を舞う男 後藤渉さんが講師となり、ダンボールでつくることに。獅子頭が重量30キロもある東野大獅子風にしたという子どもたちのリクエストで、一人では抱えるのがやっとなほどの大きなものを使用。東野大獅子の写真をじっくり見ながら太い眉、大きな鼻を付けていきます。「東野大獅子はね、口が開かないんだよ」と学習したことを教えてくれる男子児童たち。2時間以上かけてようやく完成した獅子頭を使い、お練りまつりより一足早い2月に獅子舞の発表を行います。

飯田女子高等学校 人形劇クラブ

週1回、放課後に行われるクラブ活動は発声練習からスタート。現在は2月14日に行われる「いいだ人形劇まつり りんごっこ劇場」での上演に向けた稽古の真っ最中です。いいだ人形劇フェスタ終了後、2年生が4人入部して部員は8人に。「安心して卒業できます。人形劇クラブは昭和38年創部なので



折山侑加さん、山本新奈さん、田中ありさん、島岡小春さん、渡邊日和さん、龍口美緒さん、大島杏さん、木戸菜摘さん (写真左上から時計回り)



りんごっこ劇場で上演する「ウサギとカメ」。3年生の木戸さん、渡邊さんが練習の様子を真剣に見つめる2年生。人形の位置、動かしか方、間の取り方など先輩が丁寧に指導しています

50年以上の歴史があるんです。私たちも次の代にバトンタッチができてうれしい」と笑顔で話す部長の木戸菜摘さん。さらに、これまでは部員の人数にあわせて上演する作品を選んでいたので、部員が増えたことで上演したい作品を選べるし、内容もぐっと幅のあるものができると思う」と3年生の渡邊日和さんは声を弾ませます。そんな2人の先輩の話にじっと耳を傾ける2年生たちは「これからは人形劇クラブが続いていくように私たちが力を合わせて頑張りたい」と、引き締まった表情で真剣に稽古に励んでいました。

劇人協会通信 映像と人形・ 人形劇その4

日本人形劇人協会
理事 安藤ぱく

日本人形劇人協会
舞台や映像番組で活躍している実演家と人形劇に係わる仕事を職業とする専門人形劇人の組織。人形劇人相互の親睦交流、活動条件の改善と社会的芸術的地位の向上をはかることを目的に1967年に設立されました。

「デビュー戦」

最初にNHKのスタジオに入った時は、照明の多さと、セットの素晴らしさに驚いたものでした。まだテレビがハイビジョンになる前のブラウン管だった時代、こどもにんぎょう劇場『チワンの錦』という作品に参加したのが最初でした。何重にも重なった広いセットのまん中に四阿(あずまや)があり、瀬戸物かと思まがえる出来の発泡スチロールにコーティングされた陶器のイス、本物の植木や本物と見まがうプラスチックの岩などが置かれていました。



映像の世界で人形操作を担当する筆者